

◎ポラス、浦和美園340戸の販売が順調
―新ブランド第1弾、西大宮はほぼ完売

ポラスグループの中央住宅が同社最大規模の新築マンションとして建設している「ルピアグランド浦和美園」（340戸）の販売が順調に進んでいる。6月中旬の販売開始から半年間で、140戸を売り出し130戸の契約・申し込みが入った。同時に販売してきた「西大宮」（124戸）の物件はほぼ完売に至った。浦和美園の物件は、住戸200戸以上の大型マンションブランド「ルピアグランド」の第1弾。埼玉高速鉄道線の始発駅である浦和美園駅から徒歩8分に立地。当初の販売坪単価は150万円台、販売価格は3000万円台前半から4000万円台前半が中心。モデルルームへの来場は約460組で、再来場が約190組とリピーター率が高いのも特徴だ。戸建て住宅の企画で生まれた設備をマンションに持ち込んでおり、キッチンとダイニングテーブルが一体となった同社オリジナルの「ピアキッチン」を採用した住戸が全体の4割を占める。約1万3000本の植栽を行い、緑豊かな集合住宅に仕上げる。建物規模は鉄筋コンクリート造・地上15階建て。

昨年5月から販売していたJR川越線・西大宮駅徒歩6分の「ルピアコート西大宮」も、119戸の契約・申し込みが入り、残りは5戸となった。浦和美園と同様、ピアキッチンを採用している。このほか、マンション供給が多い激戦区とされる東急田園都市線・宮前平駅から徒歩8分の「ルピアコート宮前平」（33戸）も3月の販売開始からこれまでに22戸の契約・申し込みが入っている。東武スカイツリーライン・新越谷駅徒歩5分の「ルピアコート新越谷」（85戸）のモデルルームも22日にオープンする予定。